

スポーツ秋田



題字：辻 兵吉 元県体協会長



佐々木優 (秋田県体育協会)
カヌー成年男子ワイルドウォーター
・カヤックシングル 優勝



弓道成年女子チーム (左から、阿部、堀内、島山) 近的 優勝



山田修太郎 (レスリング少年男子グレコロー
マンスタイル84kg級) 優勝 (下)



大坂昂 (レスリング成年男子グレコロー
マンスタイル98kg級) 優勝 (右)

〔写真提供：秋田魁新報社〕

contents

- ◎2016いわて国体グラビア 2
- ◎2016いわて国体報告会 3
- ◎2016いわて国体(本国体)入賞者一覧 4
- ◎2016いわて国体の成績と前年比較 5
- ◎2016いわて国体優勝者インタビュー..... 6
- ◎鈴木洋一氏県文化功労章受章..... 8
- ◎2016インターハイ入賞者 9
- ◎リオデジャネイロ五輪の県勢 10

- ◎リオ五輪・パラリンピック出場報告 12
- ◎日本スポーツマスターズ2016・
日韓成人交歓交流事業..... 14
- ◎目指せ! オリンピック!! 17
- ◎高校スポーツ。いざ、冬の陣! 18
- ◎県内スポーツの主なできごと 20
- ◎賛助会員・寄付者 21
- ◎事務局だより 22



総合開会式での入場行進



秋田県選手団結団式での選手宣誓 関本萌香(大館鳳鳴高2年)

第71回国民体育大会 2016 希望郷 いわて国体

広げよう 感動。伝えよう 感謝。



ソフトテニス競技 成年男子 7位
秋田選抜・名取敬恩(早大4年)



陸上競技 成年男子
1万メートル競歩 3位
小林快(ビックカメラ)



ウエイトリフティング 成年男子
53キロ級クリーン&ジャーク 2位
佐藤亮哉(秋田県体育協会)



ラグビー 成年男子(7人制)7位
秋田選抜・高橋大祐(三傳商事)



なぎなた少年女子 2位
秋田選抜・小澤柚羽香(左)(大曲農高3年)



フェンシング少年女子 4位
秋田選抜・田口莉帆(右)(聖霊高1年)



バスケットボール成年女子 3位
秋田銀行・矢上若菜



馬術少年自由演技馬場馬術 8位
秋山水南(大曲中3年)とユリス



ボート少年女子シングルスカル 2位
浅利真美子(奥)(秋田高3年)

(写真提供：秋田魁新報社)



第71回国民体育大会

国体報告会を開催しました

平成28年11月18日(金)

秋田県選手団報告会には、各競技団体から役員、強化担当者等 75 名が出席。今大会において活躍した競技団体のうち、なぎなた競技成年・少年女子監督と弓道競技成年女子の監督から、強化等を含め報告があり、来年開催される愛媛国体で各競技団体が良い成績を上げられるよう意見交換を行いました。報告の一部を紹介します。

なぎなた競技 成年・少年女子監督 高田 恵美子

「岩手国体なぎなた競技」は、一戸町で開催されました。選手は成年が竹村紀子（大曲高教諭）、鈴木裕子（秋田いすゞ自動車）、高橋菜津美（国際武道大）、少年は鈴木まい（大曲農業高）、小澤柚羽香（同）、佐藤莉羅（大曲高）の6名でした。



国体までの強化の取り組みとしては、各高校での日々の練習の他に、成年と少年の強化練習を大曲武道館、県立武道館で毎週行い、7月は県外遠征で大分県に、9月には大阪へ、直前には県外講師による強化練習を行いました。本県の場合は、なぎなた人口が少ないため、いつも成年・少年の合同練習をしていることが高校生にとって力をつける機会になっています。特に今年は、大学生の高橋菜津美が千葉県勝浦市から何度も往復して練習に参加してくれました。もちろん、成年の竹村、鈴木も高校生のために稽古をつけることで、成年・少年お互いに充実したものとなりました。

また、大分県の遠征には強豪チームが多数参加するので、国体に向けての効果的な練習となり、その結果、8月の東北総体では少年試合競技で団体優勝することができました。特に国体開催県の岩手県に3-0で勝てたことは高校生にとって大きな自信につながり、その頃には、動きや技が一段と上達しているのを感じました。全国から指導者が集まる9月の大阪・県外合宿では、先生方からアドバイスももらい各自課題を持ち帰り、その翌週の強化練習で県外講師から課題解決に向けた指導をいただきました。その結果、試合の運び方が目に見えて上達したように見受けられ、大会直前まで気を抜くことなく練習をしたことでよい成績につながりました。

精神面ではメンタルトレーナーから試合に対する気持ちの持ち方や呼吸のタイミングなどを指導していただき、メンタル面の強化に役立ちました。このような経過をたどることによって、例年にも増してチームワークもよく、マナーも向上して「準優勝」という結果を残すことができました。また、今回は隣県の岩手県での開催であったため、県体協はじめ保護者やOG、たくさんの方々の応援が選手の大きな支えとなり、実力以上の力を出すことができました。

来年に向けては、練習相手に男子選手を活用して、全国レベルのスピードに対応できるようにするとともに、メンタル面も合わせて強化に取り組んでいきます。

ご支援いただいた多くの県民のみなさんに深く感謝します。今後も小さな組織ではありますが、地道に活動を続けていきたいと思っております。

弓道競技 成年女子監督 齊藤 美喜子

岩手国体において私たち弓道成年女子は首尾よく近的種目において優勝することができました。応援して下さった県民の皆様、支えて下さった多くの関係者の方々にお礼を申し上げます。



昨年、全種別が東北総体で敗れ国体出場がかなわなかったことから、危機感を持って強化に臨みました。今年の新しい取り組みとして、3回実施する国体強化指定選手選考会への参加を促すよう各弓道会に依頼し、参加者が増加し幾分活気が出ました。合宿を実施することにより選手間のチーム秋田という意識が強まりました。錬成会でメンタル面強化のためのプログラムを初めて加えました。試合形式の行射を多く取り入れ、緊張感や競争意識を持つ工夫をしました。チームとしての若返りを図り、監督と強化選手を選任し、強化委員と選手の意思疎通を円滑にする体制を作りました。これらの取り組みには、長所短所があり完全ではないと思いますが、上を目指すという思いを選手と強化委員、そして弓道会が共有することによって成果が上がると考えています。強化練習の会場としている県立武道館には感謝しています。私たちの要望に素早く対応して頂き、錬成会のたびに気持ちよく弓を引くことができました。

国体本番では、初日の遠的競技は強風下の悪コンディションで行われ、結果は最悪の予選最下位の大惨敗。選手が自身のふがいなさに落胆している様子が明らかで、どうしたら翌日の近的で立ち直るのかと心配でした。近的予選も調子が良いようには見えませんが、辛抱の行射を続け射詰め競射を経て5位で予選通過となり、明らかにチームの雰囲気が変わってきたのを感じました。決勝当日の朝練では余裕と落ち着きを感じられました。8チームによる決勝トーナメントは準々決勝、準決勝ともの中同数で射詰め競射になり、神奈川県、愛知県を破って勝ち進み「射詰めになれば秋田県」と評判になりました。戦いぶりはマイペースで、自身の射に徹する集中力が感じられ、相手の的の中に惑わされて自ら崩れることがありませんでした。

決勝は来年の国体開催県の愛媛県との対戦となり、最後の試合で最高の出来を見せ、一本目から連続9中し相手を圧倒しました。本県チームは「強い」「上手い」というチームではありませんでしたが、戦いぶりを振り返ってみると「不思議な力」のチームかなとは思っています。今後は「秋田県は強い」「上手い」さらに「すごい」と言われるチームに進化したいと思います。

最後にもうひとつ感謝したいお話です。遠的予選で惨敗したにもかかわらず翌日の魁新聞紙面に写真入りの記事があり、驚きました。これが選手を大きく励ましてくれたと思います。「県代表の重さ」、「背負うものの大きさ」を再認識し、秘めた闘志に再び火がつきました。ありがとうございました。メディアの力に感謝です。



第71回国民体育大会（本国体）入賞者一覧

順位	競技名	区別	種目	氏名	所属
1位	カヌー	成年男子	WW カヤックシングルスプリント	佐々木 優	秋田県体育協会
	弓道	成年女子	近的	秋田選抜（阿部、堀内、畠山）	
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル98kg級	大坂 昂	三菱電機(株)
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル84kg級	山田 修太郎	秋田商業高校
2位	ウエイトリフティング	成年男子	53kg級フリーン&ジャーク	佐藤 亮哉	秋田県体育協会
	なぎなた	少年女子	試合	秋田選抜（鈴木、小澤、佐藤）	
	ボート	少年女子	シングルスカル	浅利 真美子	秋田高校
3位	カヌー	成年男子	カヌー-SLR25 カヤックシングル	佐々木 翼	秋田県体育協会
	カヌー	成年男子	カヌー-SLR15 カヤックシングル	佐々木 翼	秋田県体育協会
	バスケットボール	成年女子	—	秋田銀行	
	陸上競技	成年男子	10000m競歩	小林 快	(株)ビックカメラ
	レスリング	少年男子	フリースタイル66kg級	米澤 凌	秋田商業高校
	レスリング	成年男子	フリースタイル61kg級	吉川 航平	早稲田大学
	レスリング	成年男子	フリースタイル74kg級	櫻庭 功大	拓殖大学
4位	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル55kg	島谷 東志	秋田商業高校
	フェンシング	成年男子	フルーレ	秋田選抜（松岡、篠内、安部）	
	フェンシング	少年女子	フルーレ	秋田選抜（仙葉、田口、土佐）	
	陸上競技	少年男子	円盤投	関 靖史	小坂高校
	陸上競技	少年男子	共通110mハードル	佐藤 駿真	湯沢翔北高校
5位	陸上競技	成年女子	100mハードル	相馬 絵里子	スターツコーポレーション(株)
	ウエイトリフティング	成年男子	53kg級スナッチ	佐藤 亮哉	秋田県体育協会
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg級フリーン&ジャーク	奈良 康平	金足農業高校
	陸上競技	少年男子	5000m	齋藤 椋	秋田工業高校
	レスリング	少年男子	フリースタイル96kg級	土橋 雄太	秋田商業高校
	レスリング	成年男子	フリースタイル65kg級	米澤 圭	早稲田大学
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル130kg級	伊藤 昌	国土舘大学
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル50kg級	山谷 洸芽	秋田商業高校
6位	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル74kg級	小野 文聖	五城目高校
	ウエイトリフティング	成年男子	105kg級スナッチ	藤原 和朋	能代山本広域市町村圏組合三種消防署
	ボート	少年男子	舵手つきクワドルプル	本荘高校	
7位	陸上競技	少年男子B	走幅跳	土肥 慧	横手城南高校
	ウエイトリフティング	成年男子	105kg級フリーン&ジャーク	藤原 和朋	能代山本広域市町村圏組合三種消防署
	ウエイトリフティング	成年男子	+105kg級フリーン&ジャーク	腰山 浩汰	秋田県体育協会
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg級スナッチ	奈良 康平	金足農業高校
	カヌー	成年女子	カヌー-SLR25 カヤックシングル	佐藤 彩乃	(株)秋田病理組織細胞研究センター
	セーリング	成年男子	レーザー級	齋藤 大輔	美浜(株)
	ソフトテニス	成年男子	—	秋田選抜	
	フェンシング	成年女子	フルーレ	秋田選抜（高橋、岡部、安部）	
	ラグビーフットボール	成年男子	7人制	オール秋田	
ラグビーフットボール	少年男子	15人制	オール秋田		
8位	ウエイトリフティング	成年男子	+105kg級スナッチ	腰山 浩汰	秋田県体育協会
	カヌー	成年女子	カヌー-SLR15 カヤックシングル	佐藤 彩乃	(株)秋田病理組織細胞研究センター
	馬術	成年男子	自由演技馬場馬術	藤原 健	乗馬クラブエクセラ
	馬術	少年	自由演技馬場馬術	秋山水 南	大仙市立大曲中学校
	フェンシング	成年女子	エペ	秋田選抜（高橋、岡部、安部）	
	ボート	少年女子	ダブルスカル	佐藤、五十嵐	本荘高校
	陸上競技	少年男子B	砲丸投	小松 魁人	能代松陽高校
	陸上競技	少年男子A	400mハードル	佐藤 駿真	湯沢翔北高校



第71回国民体育大会成績と前年度比較

●第71回岩手国体総得点 417.5点+参加点400点=817.5点

●第70回和歌山国体総得点 374.5点+参加点400点=774.5点

	冬季国体	本 国 体	総 合	天 皇 杯	皇 后 杯
第 71 回	149.0 点	668.5 点	817.5 点	37 位	36 位
第 70 回	150.0 点	624.5 点	774.5 点	38 位	38 位
	1.0 点↘	44.0 点↗	43.0 点↗	1 位↗	2 位↗

総 合 成 績

天 皇 杯 (男女総合得点)

県名	順位	得点
東 京	1	2,532.5
岩 手	2	1,924.0
埼 玉	3	1,893.0
愛 知	4	1,777.5
千 葉	5	1,676.0
大 阪	6	1,642.0
愛 媛	7	1,531.0
神奈川	8	1,520.0
北海道	9	1,408.0
岐 阜	10	1,354.5
兵 庫	11	1,293.0
京 都	12	1,289.0
福 岡	13	1,286.0
広 島	14	1,192.5
岡 山	15	1,146.0
静 岡	16	1,093.5
新 潟	17	1,054.0
福 井	18	1,052.5
長 野	19	1,041.5
和歌山	20	1,008.5
富 山	21	988.5
茨 城	22	981.5
山 梨	23	953.5
宮 城	24	948.0
群 馬	25	934.0
山 形	26	929.0
三 重	27	920.0
長 崎	28	919.5
山 口	29	906.5
栃 木	30	903.5
熊 本	31	899.5
鹿 児 島	32	895.0
滋 賀	33	888.0
奈 良	34	869.0
福 島	35	843.5
石 川	36	838.0
秋 田	37	817.5
大 分	38	786.0
宮 崎	39	768.5
香 川	40	759.5
青 森	40	759.5
鳥 取	42	753.5
佐 賀	43	739.5
沖 縄	44	702.0
徳 島	45	632.0
高 知	47	455.5

県名	順位	得点
東 京	1	1,322.5
岩 手	2	981.0
愛 知	3	979.0
埼 玉	4	970.0
愛 媛	5	968.0
大 阪	6	951.0
千 葉	7	919.0
京 都	8	790.5
神奈川	9	751.0
北海道	10	743.5
兵 庫	11	735.0
福 岡	12	734.5
岐 阜	13	733.0
茨 城	14	660.5
広 島	15	655.5
岡 山	16	653.5
福 井	17	645.5
長 野	18	623.5
新 潟	19	610.5
静 岡	20	588.5
富 山	21	586.5
熊 本	22	566.5
山 形	23	566.0
山 梨	23	566.0
群 馬	25	565.5
宮 城	26	558.0
鳥 取	27	554.0
鹿 児 島	28	551.5
和歌山	29	544.0
香 川	30	527.0
福 島	31	519.5
石 川	32	508.5
佐 賀	33	493.0
山 口	34	491.5
長 崎	35	491.0
秋 田	36	486.5
奈 良	37	470.0
滋 賀	38	466.5
三 重	39	459.5
青 森	40	458.5
栃 木	41	452.5
大 分	42	447.5
島 根	43	444.0
宮 崎	44	440.5
沖 縄	45	419.0
徳 島	46	380.0
高 知	47	373.5

国体得点一覧 (競技・種別)

種目なし 出場なし 数値 獲得点

競 技 名	少 年		成 年		合 計
	男	女	男	女	
スケート (スピード)	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
スケート (フィギュア)	—	—	—	—	0.0
アイスホッケー	—	—	—	—	0.0
ス キ ー	30.5	12.5	56.5	18.5	118.0
陸 上	19.0	0.0	6.0	5.0	30.0
水泳 (競 泳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水泳 (飛 込)	—	—	—	—	0.0
水泳 (水 球)	—	—	—	—	0.0
水泳 (シンクロ)	—	—	—	—	0.0
水泳 (O W)	—	—	0.0	—	0.0
サ ッ カ ー	—	—	—	—	0.0
テ ニ ス	0.0	0.0	—	0.0	0.0
ボ ー ト	15.0	10.0	0.0	0.0	25.0
ホ ッ ケ ー	—	—	—	—	0.0
ボクシング	—	—	—	—	0.0
バレーボール	0.0	0.0	0.0	—	0.0
体操 (競 技)	0.0	0.0	—	—	0.0
体操 (新体操)	—	0.0	—	—	0.0
バスケットボール	—	—	0.0	27.5	27.5
レスリング	26.5	—	24.0	—	50.5
セーリング	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0
ウエイトリフティング	6.0	—	19.0	—	25.0
ハンドボール	—	—	—	0.0	0.0
自 転 車	0.0	—	0.0	—	0.0
ソフトテニス	—	—	10.0	0.0	10.0
卓 球	—	0.0	0.0	—	0.0
軟 式 野 球	—	—	0.0	—	0.0
相 撲	0.0	—	0.0	—	0.0
馬 術	*1	1.0	1.0	—	2.0
フェンシング	0.0	15.0	15.0	9.0	39.0
柔 道	0.0	0.0	—	—	0.0
ソフトボール	—	—	—	—	0.0
バドミントン	—	0.0	—	—	0.0
弓 道	—	—	—	24.0	24.0
ライフル射撃	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
剣 道	—	0.0	0.0	—	0.0
ラ グ ビ ー	12.0	—	7.5	0.0	19.5
山 岳	—	—	0.0	—	0.0
カヌー (SL・VW)	—	—	20.0	3.0	23.0
カヌー (F W R)	—	—	0.0	—	0.0
アーチェリー	—	—	—	—	0.0
空 手 道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
銃 剣 道	—	—	—	—	—
クレー射撃	—	—	0.0	—	0.0
なぎなた	—	21.0	—	0.0	21.0
ボウリング	—	—	—	—	0.0
ゴ ル フ	—	0.0	0.0	0.0	0.0
トライアスロン	—	—	0.0	0.0	0.0
小 計	110.0	58.5	161.0	88.0	417.5
得点割合 (%)	26.3	14.0	38.6	21.1	
少年・成年別得点	168.5	—	249.0	—	得点獲得
同 割合 (%)	40.4	—	59.6	—	団体 15
男・女別得点	271.0	—	146.5	—	
同 割合 (%)	64.9	—	35.1	—	
天皇杯得点・順位	—	—	*2	817.5 点 37 位	
皇后杯得点・順位	—	—	*1 *2	486.5 点 36 位	

*1 : 少年 (男女混合) で女子選手が入賞 (配点基準により男子として集計)

*2 : 天皇杯得点及び皇后杯得点には参加点を含む



2016いわて国体優勝者へインタビュー



**カヌー 成年男子 ワイルドウォーター
カヤックシングルスプリント**
佐々木 優 (秋田県体育協会)
—大曲農業高校太田分校

1. 今大会の結果について

- ①感想：初めて気持ち良く最後まで漕ぎ抜いた試合でした。
- ②勝因：去年は攻め過ぎて失敗しましたが、今年は攻めて勝つのではなくミスなく丁寧に最後まで漕ぎ抜けたのが優勝に結びついたのかも知れません。
- ③苦しかった点：公式練習で思い通りに漕げなくて、入賞できるか不安でした。

2. 競技種目の魅力

ワイルドウォーターという競技は、スタートからゴールまで真っ直ぐ全力で漕ぎ下って行く競技で、すさまじいスピード感が見所ですが、漕いでいる人はそれ以上にスピード感があって気持ち良いです。陸上競技に例えて言うなら100m走です。

3. ジュニア選手へのアドバイス

今自分が手に届きそうな目標を1つ1つ立てて頑張ってください。

4. 来年度の抱負(目標)

今年、スプリント競技で優勝したので来年は2連覇目指して頑張ります。

3. ジュニア選手へのアドバイス

目の前の練習に全力で取り組んでください。全力で取り組んだとしてもすぐに結果にはつながりませんが、今の努力が半年後・1年後・5年後・10年後の自分の力になります。

4. 来年度の抱負(目標)

全日本選手権優勝



**レスリング 少年男子
グレコローマンスタイル 84kg 級**
山田 修太郎 (秋田商業高校)

1. 今大会の結果について

- ①感想：国体は小さい頃からのあこがれの大会だったので、優勝できたことはとてもうれしい。
- ②勝因：普段から自分より格上のOBや先輩方の胸を借り練習しています。その方々との実戦練習やアドバイスを受けたことを試合で出し切れたのが勝因と考えます。
- ③苦しかった点：普段フリースタイル中心の練習をしているため、グレコローマンの練習では思い通りにいかないこともあり、精神的に苦しいことがありました。

2. 競技種目の魅力

試合時間が6分と短い中で、たくさんの展開や駆け引きがあります。この攻防の中で、豪快さやスピード感のある技が見られ大迫力のあるスポーツです。技が決まり、大事な試合やライバルに勝つことに達成感があり、自分にしか味わえない喜びを感じます。

3. ジュニア選手へのアドバイス

練習はやらされる練習ではなく、自ら進んで取り組むことが大事だと思います。試合では不安や緊張が強くなりますが、これまでやってきたことを信じ、得意技を出し切り、自分のスタイルにぶれずに、迷い無く貫き通す必要があると思います。

4. 来年度の抱負(目標)

今年は全国選抜、インターハイ、国体の3冠達成を目標にしましたが、国体以外は2位という結果に終わりました。今後は今の自分をレベルアップさせ、来年こそは全国3冠王者になりたいと思います。



**レスリング 成年男子
グレコローマンスタイル 98kg 級**
大坂 昂 (三菱電機株式会社)
秋田商業高校—早稲田大学

1. 今大会の結果について

- ①感想：2連覇ということで、秋田県に貢献できたことをうれしく思います。また、レスリング競技のスタッフは高校時代に指導いただいた方々でしたので、成長した姿を見せるために気合いを入れて試合に臨みました。優勝して少しは恩返しができるかなと思っております。
- ②勝因：監督・コーチ、体のケアをしてくださったトレーナーの存在が大きかったと思います。体の状態も良く、万全の状態でした。
- ③苦しかった点：特にありませんでした。

2. 競技種目の魅力

レスリングはどの競技よりも苦しく辛い競技だと思います。しかし、苦しい思いをした分だけ、自分の力になる競技だと思います。高い目標に挑戦してみたいと思う人にはぴったりの競技です。



弓道 近的 成年女子チーム
阿部 恵実 (鳥海ダム工事事務所)
由利高校—聖霊女子短期大学

1. 今大会の結果について

①感想：ずっと目標だった国体で優勝することが出来て本当にうれしいです。チームの仲間や監督、コーチ、家族など支えてくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

②勝因：チームワークの良さ、競射での勝負強さだと思います。

③苦しかった点：遠的の調子が悪く、なかなかチームに貢献できなかったことです。

2. 競技種目の魅力

弓道は精神面で成長できるところが魅力だと思います。的に当たりたいと思ったり、緊張したりすると、体に力が入り失敗してしまうので、いかに普段どおりの射ができるかに勝負がかかってきます。それができて勝利したときは本当にうれしく、また、自分をうまくコントロールできたことが自信へとつながり、日常生活の中でも役に立っているように感じます。

3. ジュニア選手へのアドバイス

プレッシャーのかかるときや緊張した場面で勝つために大事なものは気持ちの強さだと思います。不安になったり、弱気になったりしたときは自分が経験した試合での成功例をイメージして「絶対大丈夫、自分はできる」と信じることが気持ちの強さにつながると思います。緊張したけど成功したという経験をぜひ大切にしてください。

4. 来年度の抱負 (目標)

支えてくれた方々に感謝しながら、何事にも目標を持って取り組んでいきたいと思っています。



弓道 近的 成年女子チーム
堀内 智穂美 (堀内陽光ファーム)
本荘高校—東北福祉大学

1. 今大会の結果について

①感想：私は昨年までの8年間、競技から離れ仕事と子育てに明け暮れる日々を送っていました。今年、まさか再び国体の場に立たせていただけると思っていなかったの、私を選手として使ってくださった県弓道連盟の先生方をはじめ、一緒に闘った監督や選手、私以上に苦勞して国体に送り出してくれた家族に心から感謝しています。

②勝因：今大会は、東北ブロック予選も含めて、予選、準々決勝、準決勝と競射(延長戦)で競り勝つ厳しい試合の連続でした。常に気を抜けない状況と、チームへの信頼感が気持ちを強く持つことにつながったように思います。

③苦しかった点：競技から離れる前に比べ、時間も無い、練習量も無い、体力も無い、不足だらけの状況だったので、身につけ

ていた感覚が通用しないことも多く、その中で調整をしていくのは非常に難しかったです。

2. 競技種目の魅力

弓道は、決まった動作の中での的中を求める一見シンプルな競技ですが、その分個々の技術や性格、気持ちの動きが現れやすい競技だと思います。その繊細さと、日本の武道ならではの「礼」を重ねる美しさが私は好きです。生涯スポーツとして年齢に関係なく長く続けられるところも魅力だと思います。

3. ジュニア選手へのアドバイス

私は高校の時から「全国優勝」を目指して競技を続けてきました。もしそれが全国大会「出場」や「入賞」だったら、絶対に優勝はできなかったと思います。技術力や精神力を磨くことはもちろん大事ですが、日本一を目指すのであれば、その途中に目標を置かず、ひたすら「日本一」だけを見て進んで欲しいです。

4. 来年度の抱負 (目標)

社会人で競技を続けるのは非常に難しいことだと思いますが、またチャンスがあれば挑戦したいです。



弓道 近的 成年女子チーム
島山 康 (秋田県弓道連盟)
由利高校—盛岡大学

1. 今大会の結果について

①感想：結果を残すことができ、ほっとした気持ちと、国体という素晴らしい舞台と一緒に戦ってくれた仲間や協力してくれた先生方、家族への感謝の気持ちです。

②勝因：チームワークの良さです。仲間を信じることで、それぞれが自分の射に集中することができたと思います。

③苦しかった点：私自身の調子が上がらず、毎回競射での勝負になってしまったことと、遠的競技で何もできないまま終わってしまったことです。

2. 競技種目の魅力

弓道は、年齢や性別に関係なく誰でも、いつからでも始められ、生涯楽しむことの出来る武道・スポーツだと思います。一つ一つ決められた動作の中で自分を表現し、また己と闘うことで美しく美しい射が作られていくものだと思います。的へ向かう集中力や精神力は他の競技とは異なる面白さがあると思います。

3. ジュニア選手へのアドバイス

- 一生懸命練習すること。若い時期に必死で練習した経験は、必ず自分の強さ(力)になります。

- 目標を持つこと。小さくても大きくても良いので、その目標に向かって頑張ることができると思います。

- 家族や先生方、仲間への感謝の気持ちを忘れないこと

4. 来年度の抱負 (目標)

自身の射の向上を目指し修練を続けたいと思います。

また、許される環境があれば、また国体を目指して頑張りたいと思います。



鈴木洋一氏（前秋田県体育協会会長）

平成 28 年秋田県文化功労章を受章

平成 28 年 11 月 2 日、秋田県文化功労者表彰式が、秋田県庁「正庁」において開催され、公益財団法人秋田県体育協会前会長の鈴木洋一氏が、スポーツの振興・発展の功績により、文化功労章を受章されました。

文化功労者は、本県文化の向上発展に卓絶な功績のあった個人や団体を対象に表彰するもので、昭和 31 年から 413 名の個人と 7 団体が受章しています。本年は、華道、美術教育、俳句、染織、スポーツ、地域産業、保健医療、食生活改善の各界から、8 名の方々が受章しました。



主なご功績

秋田県トランポリン協会会長、秋田県ソフトテニス連盟会長、秋田県スキー連盟会長を歴任し、自ら実践しながら、競技への理解とスポーツの楽しさを再認識させ、生涯スポーツとして継続することの重要性を紹介するなど、本県のスポーツ振興に大きく貢献されました。

秋田県スキー連盟会長として、県内選手の技術力向上に努め、数々のオリンピックを輩出したほか、国民体育大会冬季大会スキー競技会では、第 65 回から第 69 回大会まで、皇后杯 5 連覇の偉業を成し遂げました。

全日本スキー連盟会長就任以降も、本県選手の品格と競技力向上に努めたほか、国際スキー連盟主催のフリースタイル・モーグルスキー・ワールドカップの本県招致に尽力し、本県初のスキー世界大会を成功させました。

平成 28 年度 公益財団法人日本体育協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者

公益財団法人日本体育協会の公認スポーツ指導者として、資格取得後 15 年以上にわたり、スポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められるとして、本会の推薦により次の 4 名が表彰を受けることとなりました。

表彰式は、平成 28 年 12 月 10 日に、TKP ガーデンシティ品川で行われます。

- 佐藤 笙子（卓球上級指導員）
- 佐々木 義宗（山岳上級コーチ）
- 畠山 浩樹（バレーボール指導員）
- 伊藤 綏之（柔道上級コーチ）



平成28年度全国高等学校総合体育大会 美しく咲け 君の笑顔と努力の華
2016 情熱疾走 中国総体 入賞者

平成28年7月28日（木）～8月20日（土）を主会期に、岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、和歌山県の6県を会場として、30競技で高校生の熱戦が繰り広げられました。

本県の入賞者は次のとおりです。（丸数字は学年）

1位	陸上競技女子400mハードル	関本 萌香（大館鳳鳴②）
	フェンシング女子エペ	成田 琉夏（聖霊①）
2位	レスリング84kg級	山田修太郎（秋田商業②）
3位	フェンシング男子学校対抗	秋田北鷹 松淵 直希③ 三浦 大成③ 伊藤 公② 松淵 真平② 宮崎 泰我①
	レスリング学校対抗	秋田商業 島谷 東志③ 吉川 貴紘③ 佐々木延彦 ③土橋 雄太③ 山谷 洗芽② 米澤 凌② 山田修太郎② 佐藤 旭② 鈴木 勇斗② 安田 拓斗② 島谷 侃①
4位	陸上競技女子走高跳	飯塚 茜（横手清陵学院③）
5位	ボート男子舵手つきワドルプル	本 荘 佐藤 雅也③ 佐伯 優介② 村上真之輔 ②佐藤 大也② 佐藤 隼②
	陸上競技男子5000m	齋藤 椋（秋田工業③）
	フェンシング女子学校対抗 ※ベスト8	聖 霊 石綿 夢望③ 仙葉 楓佳③ 井関 彩加③ 成田 琉夏① 田口 莉帆①
	レスリング66kg級 ※ベスト8	米澤 凌（秋田商業②）
	レスリング96kg級 ※ベスト8	土橋 雄太（秋田商業③）
6位	陸上競技男子400mハードル	佐藤 駿真（湯沢翔北③）
	フェンシング男子フルーレ	松淵 真平（秋田北鷹②）
	ボート女子シングルスカル	浅利真美子（秋田③）
	ウエイトリフティング94kg級スナッチ	奈良 康平（金足農業③）
7位	ボート女子舵手つきワドルプル	本 荘 田中 蛍③ 奥山 咲弥③ 鈴木 聖蘭③ 須藤 美咲③ 田口 美里②
8位	ウエイトリフティング94kg級トータル	奈良 康平（金足農業③）



関本 萌香(大館鳳鳴②)決勝



成田 琉夏(聖霊①)表彰式



山田修太郎(秋田商②)決勝

[写真提供：秋田魁新報社]



リオデジャネイロ五輪の県勢

～ 収穫と課題 そして東京五輪へ ～

秋田魁新報社 赤石昌之横手支社長

8月5日から21日まで南米で初めて開かれたリオデジャネイロ五輪取材した。本県出身や本県ゆかりの選手・スタッフの健闘ぶりや、浮き彫りになった課題などを通して、秋田にとってどんな五輪だったかを振り返る。

日本勢は過去最多41個のメダルを獲得。日本オリンピック委員会が2001年にスタートさせた長期強化計画が軌道に乗ったほか、医科学面と練習環境面で選手を支援する国立スポーツ科学センターとナショナルトレーニングセンターが機能したことが、好成績の背景にある。



マラカナン競技場で行われた開会式で、観客の声援に応えながら入場する佐々木兄弟

本県関係では、カヌー・スラローム男子カナディアンペアに佐々木将汰・翼兄弟（万六建設、船岡中一西仙北高出、大仙市）、男子マラソンに佐々木悟選手（旭化成、南外中一秋田工高一東文化大出）、バドミントン男子単に佐々木翔選手（トナミ運輸、関東一高一富士大北都銀、北海道出身）が出場。バスケットボール女子チームを内海知秀監督（能代工高一日体大出、青森県出身）、馬術チームを照井慎一監督（横手市出身）が率いた。

また、陸上競技の酒井勝充コーチ（増田高出）、競泳の村上二美也コーチ（角館高一東京体育専門学校出）、カヌー・スラロームの馬場昭江コーチ（仙北市住）と山中修司コーチ（角館高一神田外語大出）が参謀として名を連ね、モンリオール五輪優勝メンバーの荒木田裕子（仙北市出身）全日本女子バレーボールチームゼネラルマネージャーも現地で日本勢の戦いを見守った。

本県関係選手の五輪

カヌーの佐々木兄弟は、パワーでぐいぐい漕ぐ欧米勢に、国際大会でもまれながら磨いたターン技術で対抗した。勝負を懸けた2本目は、前半こそ身上の技術がさえたが、後半に人工コース特有の複雑な波を受けてタイムをロス。惜しくも準決勝進出を逃した。

しかし、カヌー・スラロームでは、県出身選手が初めて五輪出場を果たしたこと自体が収穫と言える。秋田のカヌーの歴史は30年ほどと短い。東京都福生市出身の馬場さんが旧角館町に移住し、玉川の大威徳橋付近で練習を積んだほか、選手の発掘や育成に努めながら競技力を向上させてきた。当時、カヌーの競技団体が無い都道府県は本県と三重県だけ。そんな不毛の地に種をまき、リオ五輪ではスラロームのスタッフ・選手計8人のうち4人を本県関係者が占めるまでに至った。ゼロからの大躍進である。

佐々木兄弟は、県内に住みながら技術を磨いた。所属先の地元企業も協力を惜しまなかった。地方にいなながら五輪に出場できることを証明した実績は、今後の選手育成の大きなヒントになる。



人工コースの激流に挑む佐々木兄弟

花形の男子マラソンへの出場も画期的だった。本県出身選手の五輪参加は、ボストンマラソン優勝で知られ、1952年ヘルシンキ大会に出場した山田敬蔵さん（大館市出身、川崎市）以来、64年ぶり。しかも佐々木悟選手は、過去の五輪男子マラソンに延べ12人の代表を送り込み、宗兄弟や森下広一さん、谷口浩美さんの活躍で知られる名門・旭化成のエースにまで上り詰めての出場だ。

大会最終日の午前9時半。五輪期間中初めて激しい雨に見舞われる中で、号砲は鳴り響いた。リオのカーニバルで知られるサンポドロモを発着点とする周回コースが舞台だ。佐々木選手は作戦通り、中盤まで先頭集団の後方に付けて後半勝負をうかがった。

27キロ付近の給水所でアフリカ勢が急速にスピードを上げたところまでは予想通りの展開だった。ここから上位陣を追う「ギアチェンジ」を仕掛けようとしたが、「気が付いたら」（佐々木選手）置き去りにされていた。

ペースアップへの対応がレースの鍵を握ると判断し



周回コースを力走する佐々木悟選手

て、昨年12月の福岡国際マラソン前から課題克服に取り組んできただけに、世界とのスピード差がまだまだ大きいことを、身をもって知らされた瞬間だった。後半のペースアップに対応しながらスピード勝負を制しきれぬかどうかは、日本マラソン界全体の課題である。スタミナ勝負で日本や欧米など伝統国の選手が最後に粘り勝つ光景は、もはや過去のものになりつつある。

日本勢最高の16位に食い込んだ力走は健闘といえる。ただ、過去の日本マラソンの栄光に照らして、「入賞(8位)なし」を完敗と捉える厳しい評価が相次いだ。今は世界選手権に照準を合わせて練習を積んでおり、大舞台での巻き返しに期待したい。

リオ大会出場が決まって以降、佐々木選手は名門チームと日本マラソン界に蓄積された豊富な経験則を再確認したようだ。激しい競争の中で、ベテランが若手に負けまいと練習に工夫を凝らす。それだけでなく、ひとたび国際大会の代表に決まると、世界で失敗と成功を繰り返しながら組織の中に積み上げてきた経験値を伝授されるのだ。

佐々木選手は、ロサンゼルス五輪で期待されながら4位に沈んだ宗猛・旭化成陸上部総監督の「暑い季節のレースには8分目の練習で臨め。疲れを残しては駄目」という助言を忠実に守った。強豪チームの環境が、選手を「国際規格」に仕立てる一例だ。

佐々木翔選手は、2007年の秋田わか杉国体で本県成年男子を優勝に導いた時のエース。リオ大会で日本のバドミントン界を背負って戦う姿には鬼気迫るものがあった。代表に予定されていた選手が不祥事で出場停止処分になり、白羽の矢が立ったのが3カ月前。修行僧さえ思わせる真面目さで、意識して自らを精神面で追い込んだ。

日本勢初の8強入りを果たした前回ロンドン大会でも、当時の世界王者・林丹(中国)相手にシャトルを拾いまくり、瀬戸際まで追い詰めた。五輪後は北都銀行のコーチに就任。競技へのストイックな姿勢は、国際大会で通用する選手の育成に、大いに貢献するだろう。



懸命にシャトルを拾う佐々木翔選手

能代のバスケットを五輪で

痛快だったのが、バスケット女子の快進撃だ。世界ランク16位ながら、1次リーグではベラルーシ(10位)、ブラジル(7位)、フランス(4位)の格上を撃破し、オーストラリア(2位)にも善戦。準々決勝では、五輪6連覇を達成した米国を一時は2点差まで追い上げるなど、旋風を巻き起こした。

ひたむきな姿勢は観客を惹き付け、会場には毎試合「ジャパン」コールが響いた。戦うスタイルは、内海監督が植え付けた「走るバスケット」。流れを手繰り寄せせる最大の武器が、速攻、粘り強い守り、ルーズボールへの執念だった。

内海監督は「(体格で劣るのだから)相手と同じバスケットをやっていては勝てない」とスピード重視



大きな身振り手振りで選手に指示する内海知秀監督

の理由を説明。能代工高の恩師・加藤廣志さんが志した「走るバスケット」が原点との思いを口にした。県内のチームが全国の頂点を目指すために数十年にわたり磨きをかけてきたプレースタイルを、日本代表の監督を務める卒業生が国際大会を戦い抜く武器にする一。秋田の記者として、誇らしい気持ちになった。



競泳7種目に出場した池江璃花子選手(右)を育てた村上コーチ

県選手と県関係スタッフは、それぞれのリオ五輪を存分に戦った。ただ、本県は五輪メダルの量産地である。県出身選手が獲得したメダルは31個。このうち個人種目の金メダル7個は、リオ大会前の集計で、都道府県別で4番目に多い。夏季・冬季合わせた五輪出場選手は、延べ115人に上る。

1964年東京五輪の主役は、紛れもなく「秋田の体操」だった。2020年東京大会にも主役に躍り出るような選手を送り出し、本県スポーツ界が再びスポットライトを浴びる日が来ることを願っている。



感動をありがとう！リオデジャネイロの熱い夏

マラソン 佐々木悟選手（旭化成陸上部）

— リオに向けて、そして次の目標にむけて —

今回のリオデジャネイロオリンピックに向けて、昨年12月の福岡国際マラソンを走り、2時間8分56秒の自己新記録で日本人TOPとなりましたが、派遣標準記録を突破しなかったため、内定を得ることが出来ず、東京マラソン、びわ湖毎日マラソンの2つの国内選考レースの結果次第となりました。

周りの方々にはご心配をかけましたが、私自身は特に焦りなどはなく、福岡国際マラソンは、次のマラソンに向けて修正や強化することをたくさん見出した大会でもありましたので、すぐにその準備に取り掛かりました。代表に決まった3月まで、リフレッシュする期間もあり、そして8月の本番までも比較的時間の余裕をもってスケジュールを組むことができたので、良かったと思います。

拠点である延岡市で普段通りの練習、生活をしていましたので、特に代表になったことを意識していませんでしたが、オリンピック代表決定の報告とご挨拶に4月に地元秋田に帰ったときは、沢山の方々に激励していただき、やっと実感が湧いたことを覚えています。秋田から戻り、本格的にオリンピックに向けてのマラソン練習をはじめましたが、手厚いサポートがあり、個人合宿で練習に集中できる環境で、ケガなく充実した生活を送ることができました。リオデジャネイロへの移動は長時間でしたが、機内での過ごし方、コンディショニングなど本当にいい状態を作るための環境を作ってくれたことに感謝しています。

現地は、報道にあったような物騒なこともなく、海岸線などは非常にきれいでした。選手村では若干不便なところもありましたが、報道が少し大げさだったかなと思います。

オリンピックでは、決して満足のいく結果を出すことができませんでしたが、自分自身で感じた課題等をチームスタッフと話し合い、来年の世界陸上のマラソン代表となるだけでなく、もっと上の順位を目指していきたいと思っています。

応援ありがとうございました。



車椅子バスケットボール 藤井新悟選手（富士通コミュニケーションサービス㈱）

— リオパラリンピックを振り返って —

私自身4回目となるパラリンピック、それがリオパラリンピックでした。初めて臨んだアテネパラは26歳で若手、その後キャプテンの肩書を持ち2度出場し、そしてベテランとなった今。過去3大会全てで満足できる結果は残せていない。今度こそは、という想いは必然的に強くなる。さらには年齢的なものもあり、これが最後という気持ちで臨んだ。

色々なことを経験しある程度のことに対して対応できる自信もあった。勿論、これまでの日本代表の中で過去最強という自覚も持っていた。合宿も海外遠征も重ねトレーニングも一番やってきたと自分に言い聞かせて臨んだ試合。やはり簡単に勝たせてはくれない。練習や試合、経験や苦難を積み重ねてきて乗り越えてきているのは、お前たちだけではない

と言わんばかりに。かといって、やればやっただけ見返りがついてくる世界でもない。でもやらなきゃ置いて行かれるだけで、世の中の時間は普通に流れていく。敗戦が続く中そんな想いが沸き起こり、それでも無理やり頭を切り替え「次」の準備をしていかなくてはならない。

決勝トーナメント進出の可能性が消える。それでも試合はまだ続く。自分のメンタルを始め、チームも壊れそうになるのは当然のことである。しかしこんな状況は過去に味わったことなんてたくさんあった。もう一度チームで目標を再確認し、そのために自分がやれることを見つめ直す作業、これが非常に大事になった。目標はその大会を通して「成長し続けること」だった。だから最後の試合では一番いいものにしなければいけないし各人の成長は必須であった。プレーやスキルの部分は当然、メンタル面での向上が特に重要である。

結果は9位という形で大会を終えた。前回大会と同じ順位である。この瞬間ふと頭によぎったことがあった。大会前、様々なメディアに取材を受けて自分は集大成であり、過去のどの大会でも得られていない「やり切ったという証」を獲りにいきたい、と。正直な話、結果はどうあれそれが手に入れば俺は満足できるし、悔いなく終われると考えていた。

これは全く違っていただけに気づかされた瞬間だった。綺麗な言葉を並べてやり切った証が欲しいなどと発言しておきながら…。やはり目標としていた結果を得られない限り、満足もできないしやり切ったとは到底言えない自分がそこにはいた。これはパラリンピックを4回経験してやっと初めて実感したことである。自分はまだ未熟であり、ゆえに未完でまだまだ成長もできると信じたい。目標に向かって走り続けてきた中で、失敗も挫折を味わうこともたくさんある。時には立ち止まって後ろを振り返ったり下を向くことさえも。それでも己を知り自分の気持ちに素直になり、また目標を設定し前を向いて、歩んでいきたいと思う。挑戦こそが自分の人生、活力の源なんだと



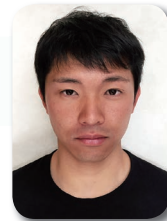
強く感じた。

このパラでもたくさんの経験をさせてもらえたとし、自分を知ることができた。結果は残せなかったものの、自分にとってはかけがえのないものを得られた大会となった。今後も生産性のある日々を送っていくために、車椅子バスケを通じてチャレンジしていきたいと思う。

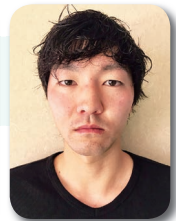
カヌー 佐々木将汰選手 (万六建設)

— リオから東京2020に向けて —

はじめにリオデジャネイロオリンピックの出場権を決めたアジア大陸最終予選についてです。昨年のオリンピック第一次選考会をかねた世界選手権で上位8カ国に入れず、アジア枠でのオリンピック出場を狙うと決まった時どのように強敵中国に勝とうか考えました。僕達の強みはテクニックでそれを伸ばしていく事が大前提で、一番必要なのはそのテクニックをレース終盤で使う事ができる体力、筋力をアップさせる事でした。そこで11月から国立スポーツ科学センターでトレーナーについてもらい、体力・筋力面の強化をスタートし年明け1月中旬の頃には二人とも以前と比べ、体力・筋力どちらもアップしその力を上手くカヌーに伝えられるようになっていました。最終選考会まで残すところ3ヶ月を切り、二人とも自信を持ってカヌーに取り組めるようになり最高の状態で大会を迎えました。レース当日は両親や所属先である万六建設、秋田県のカヌー関係の方々が大勢応援に駆けつけ、その応援が本当に僕達の力になり、決勝ではカヌー人生の中で一番のレースができ、強敵中国に2秒という差をつけ勝つことが出来ました。そのレースで僕が感じた事は本当に大勢の方に支えられ僕達はカヌーを続けてきたのだなと改めて思い、言葉では表せないほどの感謝でいっぱいになりました。



佐々木将汰選手



佐々木翼選手

オリンピック本番では翼の腰の故障もあり万全と言える状態ではありませんでしたが、1本目のスタート前は練習があまり出来てなかったこともあり、今までにないくらい緊張していてペナルティを多く取られてしまい、自分達のレースをすることができず追い込まれた状況になりました。2本目に向けてはペナルティをなくし、自分達のレースをする事だけを二人で話し合い2本目に向かいました。2本目はレース終盤までトップの組から2秒差と自分達のレースが出来たのですが、終盤で一番テクニカルでパワーが必要なパートで大きなミスをしてしまい、結果12位で予選通過をすることができませんでした。悔しい結果ですが、故障をして練習ができてなかったことを考えると良くまとめたレースだったと思います。二人での最後のレースを夢見ていた舞台上、多くの方に応援してもらい悔いなくレースが出来て幸せでした。二人でカヌーを続けてきて本当に良かったです。

最後になりますが今後は、二人でカヌーをすることはありません。東京2020では僕が一人乗りで金メダルを取ることが今後の大きな目標です。今まで以上に厳しい道のりですが、周りから応援したいと思わせる選手になり感謝を忘れず頑張っていきます。



カヌー 佐々木翼選手 (万六建設)

— オリンピックへの思い —

僕はオリンピックを夢みてカヌースラローム競技をやってきました。小学校3年から始めたカヌー、最初は怖くて練習に行くのも嫌でした。しかし、競技をやっていくにつれて4年に一度しかないオリンピックに出ることが目標になっていました。

2011年、ロンドン五輪出場がかかった大会では思うような漕ぎができず、五輪出場の夢は叶いませんでした。このとき、競技をやめようか悩みました。高校生だった僕は世界のレベルの高さを知り、オリンピックには半端な気持ちでは出ることはできないとわかりました。

競技をやめるか続けるか悩んでいるうちに高校を卒業し、万六建設に就職が決まり働きながら練習をしていて、働いてお金を稼ぐ大変さに気が付きました。今まで何も気にせず海外に行っていました。どれだけお金がかかっていたかを知り、その時決意しました。やめるなら夢を叶えてからにしよう。

そして、2015年9月世界選手権オリンピック第1次予選に出場し、うまくまとめられたレースでしたが五輪出場枠を得る8カ国の中に入ることはできませんでした。とうとう最後のオリンピック出場を賭けたアジア大陸の最終選考会。厳しい戦いでしたが最後まで諦めない戦いをやりきり、そして、夢にまで見た五輪出場の枠をとることができました。

リオオリンピックでは今まで経験したことのないことばかりで、世界選手権やワールドカップでは味わえないことばかりで貴重な経験でした。僕が腰を痛めて思うように公式練習ができないままオリンピック本番に挑みました。結果は予選敗退、しかし僕は悔いはありません。腰を痛めても、そうでなくても結果は変わらなかったと思います。あの時、考えられるすべてのことをやった結果が世界の選手に敵わなかっただけのことです。

最後に僕達が夢を叶えられたのは決して自分達だけの力ではありません。家族、会社、周りで本気で支えてくださった皆様のおかげで夢が叶いました。メダルには届きませんでしたが、オリンピックという大舞台に立たせていただいたことに本当に感謝しています。今後の目標はまだありません。自分が学んできたことや経験を活かせる何かをゆっくりと探そうと思っています。もしかしたら選手として、また復帰するかもしれません。



日本スポーツマスターズ2016秋田大会、 第20回日韓スポーツ交流・成人交歓交流を開催 会期 平成28年9月22日～27日

「シニアになっても真剣勝負!!」を合言葉に開催された「日本スポーツマスターズ2016秋田大会」は、全国各地から約7,500名の選手・役員をお迎えし、大きな感動と数多くの成果を上げて、盛況のうちに終わることができました。大会の様子をお伝えします。

9月23日の開会式(前夜祭)は、高円宮妃殿下の御臨席を賜り、各競技役員・選手、マスターズのシンボルメンバーや韓国選手団など約700名が参加。「泣ぐご(子)も黙る 大人の本気を発揮し、シニアになっても真剣勝負します」と秋田らしい選手宣誓がありました。地酒や秋田の食を堪能しながら、「西馬音内盆踊り」等、国重要無形民俗文化財の指定件数が全国一を誇る本県の伝統文化の魅力にも触れていただきました。

競技会は、9月24日から27日まで6市2町33会場で熱戦が繰り広げられ、県勢は男子287人、女子120人の総勢407人が出場。各県を代表して参加した選手たちは、日々の鍛錬で培われた力と技と気迫あふれるはつらつとしたプレーを連日繰り広げました。真剣な中にも勝負の楽しさや駆け引きがあり、見ている我々にも十分に伝わってきました。シニアの活力とマスターズの素晴らしさを感じることができました。

協賛事業として開催した「スポーツ教室」は、「史上最強の女子プロ」と言われ、爆発的なボウリングブームの立役者となった中山律子プロなど、シンボルメンバーが講師。一流の技術や基礎・基本の大切さを直接教えてもらえる絶好の機会となりました。

また、記念すべき20回目を数える「日韓スポーツ交流・成人交歓交流」も同時に行われ、9月22日から28日までの7日間、李仁禎(イ・インジョン)団長をはじめ、韓国選手団192名が本県に滞在し、マスターズ大会への参加を中心に交流を深めました。

ソフトテニス競技に出場した韓国選手には、2002年釜山アジア大会で優勝した女子ペアがおり、エキシビションマッチをしたり、高校生対象のクリニックを開催したりと、多様な交流がありました。軟式野球競技においては、過去一度も勝利がない韓国チームの今大会にかける執念と意気込みが強く感じられました。元プロ野球選手を先発させ、スピードで相手を翻弄し、三振の山を築きましたが、延長戦で敗れ初勝利はかないませんでした。自転車競技では、男子チームがケイリンで表彰台を独占したほか、テニス競技では男子ダブルスが優勝、女子ダブルスが準優勝、バスケットボール競技では、過去最高の3位など、今年の韓国チームはとて強かったと日本選手から称賛の声があがりました。

競技終了後には男鹿市や仙北市など、県内観光地を文化探訪したほか、きりたんぼや稲庭うどん等を大変喜んで味わっていました。



高円宮妃殿下のおことば



選手代表決意表明
小松選手(左)と半田選手(右)



鏡開き



ソフトボール



バレーボール



テニス

★トピックス

「元気印の高齢者を発見!!」

前夜祭では、高円宮妃殿下からの「明日からの競技に差し支えないように」とのお言葉も何のその、参加者は秋田の銘酒に酔いしれながら大いに盛り上がり、大会期間中の川反は大盛況の様子でした。

美郷町で開催された自転車競技では驚きの連続でした。35歳から60歳未満までは5歳刻みの年齢別ですが、60歳以上は上限なしということで、なんと78歳の選手も出場しておりました。派手なウェアに独特の形のヘルメット姿で、一般の人は到底無理という傾斜角34度のコースをもの凄いスピードでさっそうと走っていました。

日々の努力により今なお現役の、まさに元気印の高齢選手の頑張りは、観客に元気を与えた大会であり、若手選手には大きな刺激となった大会でした。

来年は60歳以上の選手による「ねんりんピック」が本県で開催されますので、今年以上の「元気印の高齢者」が大勢秋田を訪れることでしょう。



自転車競技

★スポーツ教室

誰もが知っている一流選手・指導者によるスポーツ教室が県内各地で開催されました。

大会期間中には、ボウリング競技で、中山律子プロのほか、本県出身の半田プロもサポートにまわり、各レーンを回って愛好者に対して投球フォームなどを指導していました。テニス競技では、マスターズ大会の会場にミニコートを設定し、佐藤直子プロがレベル毎に基本のストロークを指導しました。陸上競技では、谷川真理選手がランニングの基礎について指導し、最後は参加者全員でランニングをして終了しました。

大会前の6月にもシンボルメンバーによる次のスポーツ教室が開かれました。



サッカー・北澤豪講師



水泳・萩原智子講師



ソフトボール・宇津木妙子講師



ゴルフ・樋口久子講師



真剣な表情で話を聞く参加者



バスケットボール・岡山恭崇講師



★日韓交流を支えたスタッフより

韓国選手団の皆さんには、私たちがもてなす側なのに、娘・息子のように可愛がってもらい、大変優しくしてくれました。スポーツを通じて国境や言葉の壁を越えてこのように交流できることは本当に素晴らしいことだと実感しました。貴重な体験をさせていただけたことに深く感謝します。(バレーボール主任運営員 小松 瞳)

サッカーの夕食会には、韓国選手団を含む総勢 51 人が参加し、5 月の派遣事業に参加したメンバーが久しぶりの再会を喜んだ。アプリの翻訳機能などを活用しながら会話をし、皆が円になり肩を組み何度も祝杯を交わした。当初予定になかった交流試合の計画も夕食会の場で決まった。一緒に飲んだ仲間とサッカーを通じて継続して交流しようと両国の選手団が誓い合った。思い出に残る大会でした。(サッカー主任運営員 鈴木 夏絵)

第20回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流(受入)日程

日付	9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日
曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日
日次	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
午前	11:50 仁川空港発	朝食 競技会場へ移動	朝食 競技会場へ移動	朝食 競技会場へ移動	朝食 競技会場へ移動	朝食 文化探訪 (秋田ふるさと村)	チェックアウト
		種目別練習	【マスタース大会参加 (10 競技)】			※次の2競技は大会出場 テニス(準決勝・決勝) バスケットボール(準決勝)	午前:ショッピング
午後	14:00 秋田空港着 入国手続き 宿舎着 チェックイン	文化探訪 秋田市内: 民族芸能伝承館 ポータタワーセリオン 南秋地区: 大湯村干拓博物館 寒風山展望台 仙北地区: 田沢湖・角館武家屋敷 由利本荘地区: 天鷹村	①サッカー (男) (男鹿市) 18人 ②テニス (男女) (秋田市) 18人 ③バレーボール (女) (秋田市) 19人 ④バスケットボール (男) (秋田市・三種町) 18人 ⑤自転車競技 (男女) (美郷町) 17人 ⑥ソフトテニス (男女) (大館市) 22人 ⑦軟式野球 (男) (横手市・大仙市) 18人 ⑧ソフトボール (女) (由利本荘市) 19人 ⑨バドミントン (男女) (美郷町) 18人 ⑩ボウリング (男女) (秋田市) 18人 ※ 競技の結果により、交流試合・文化探訪を行った			文化探訪と ショッピング	13:00 秋田空港着 出国手続き
	18:00 歓迎レセプション [秋田ビューホテル]	16:30 マスタース開会式 (前夜祭) [秋田キャッスルホテル]	競技別歓迎夕食会 (各会場)	競技別歓迎夕食会 (各会場)	競技別歓迎夕食会 (各会場)	18:00 歓送夕食会 [秋田キャッスルホテル]	17:30 仁川空港着



日韓青少年スキー交流を開催します。

9月の日韓成人交歓交流に続き、来年1月は日韓青少年冬季スポーツ交流(雪上競技)が本県鹿角市で開催されます。この事業を本県で開催するのは4年ぶり2回目となります。スキー競技を愛好する日韓両国の中学生選手が競技を通して互いの国の歴史や文化に触れ交流を深めます。

【受入】 平成 29 年 1 月 8 日(日)～ 14 日(土) 鹿角市

アルペン競技: 水晶山スキー場

クロスカントリー競技: 花輪スキー場クロスカントリーコース

【派遣】 平成 29 年 2 月 21 日(火)～ 27 日(月) 韓国・ソウル特別市及び江原道

【参加予定者数】 アルペン競技 指導者: 3 名、選手: 男子 12 名、女子 12 名

クロスカントリー競技 指導者: 3 名、選手: 男子 12 名、女子 12 名



クロスカントリー両国選手団



アルペン競技



文化交流・仙北市の紙風船上げ

※写真は平成 25 年 2 月に仙北市で開催した日韓青少年冬季スポーツ交流(受入)の様子



目指せ！ オリンピック！！

オリンピック出場に熱い闘志を燃やすアスリートを紹介

レスリング競技



多胡島 伸 佳 選手 (桜中学校～明桜高校→早稲田大学4年)

全国、東北、全県大会の主な実績

- 小 学 校 ●全国少年少女レスリング選手権3位(4年)
- 中 学 校 ●全国中学校レスリング選手権5位(3年)
- 高等学校 ●全国高校総体3位(2年)
●国民体育大会2位(3年)
- 大 学 ●JOCジュニアオリンピックカップ1位(1年)
●世界ジュニア選手権5位(1年)
●文部科学大臣杯全日本大学選手権1位(2年)
●内閣総理大臣杯全日本大学選手権1位(2年)
●国民体育大会1位(3年)
●天皇杯全日本選手権1位(3年)
●ゴールデンランプリ決勝大会5位(3年)
●アジア選手権5位(3年)
●明治杯全日本選抜選手権1位(4年)



明治杯全日本選手権大会
(男子フリー70キロ級 優勝)

オリンピックに向けての意気込み

1年間を通して様々な国際大会があり、世界選手権などは毎年開催されています。また、国別対抗のW杯も開催されており、世界規模でのレスリングの順位付けをする機会は数多くあります。その中でも世界選手権で優勝した選手は世界チャンピオンとして認識され注目を浴びることになります。その認識もさることながら、世間一般からもチャンピオンとして注目を浴びスポーツの関心に大きな影響を与えていると思います。

つまり後世にまで語り継がれるようなタイトルこそがオリンピックであり、それは競技に関わらず全てのスポーツ選手が同様に感じていると思います。自身の選手としての価値の向上に加え、その競技そのものの価値の向上もオリンピックという舞台は担っているように思います。その為にもレスリング競技をもっとメジャーにし、選手の競技環境が整備されれば良いと思っています。

オリンピックに出場してメダルを獲るのは単に自己目標達成だけではなく、レスリング競技のため、そして秋田県という地域のために大きな意義があると思っています。

応援している秋田県民に一言

オリンピックメダリストを輩出することは地域のPRに大きな好影響を与えます。4年後の東京オリンピック出場に向けて練習に励み、少しでも地元秋田県に貢献できるように頑張りますので応援をよろしくお願いいたします。

目標：ハンガリーで行われる世界選手権でメダル獲得！

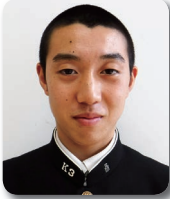


高校スポーツ。いざ、冬の陣!

駅伝競走 (男子)

秋田工業高校 (4年連続22回目)

主将 高橋 響 ひびき



全員の力を結集し、今年も駅伝の聖地「都大路」を走れることを嬉しく思います。しかし、全国の舞台で強豪校と戦うには自分たちにはまだまだ課題があります。その一つが、今年のチームはエースに頼り切っている面が多くあるということです。都大路で戦うためには、人に頼るのではなく、選手一人一人が「まずは自分から」という気持ちを持つ必要があります。練習はもちろん、生活面など全ての取組が都大路につながっているということをこれまで以上に自覚し、基本的なことを大事にしていきたいと思います。そして、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、師走の都大路では攻めの気持ちで粘り強い走りし、秋田工業の歴史に新たな伝統を刻みたいと思います。



駅伝競走 (女子)

秋田北鷹高校 (12年ぶり6回目※)

※旧鷹巣高校・鷹巣農林高校の出場回数を含む

主将 藤田 正由加 まゆか



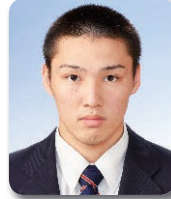
たくさんの方々からのご支援、ご声援のおかげで、秋田北鷹高校として初優勝することができました。しかし、今回のタイムは決して満足できるものではなく、全国のレベルにはほど遠い結果となりました。全国高校駅伝に向けて、個々の走力はもちろん、チーム力をさらに上げていかなければいけません。チームの弱さ、甘さをつぶし、全国の強豪校に挑戦していく走りをする。秋田県最高順位、タイムを目標に、今年度のチームで走るベストな駅伝を目指します。感謝の気持ちを忘れず、チームを信じ、自分を信じ、最後までつなぐ駅伝で戦います。ご声援、よろしくお祈りします。



バスケットボール (男子)

平成高校 (初出場)

主将 三浦 杏太 きょうた



『広島での忘れ物を取り返すには、東京の全国の舞台に行くことが最低条件』を掲げ県予選を突破しました。秋田県の代表として、改めて全国に挑む覚悟は十分に固まっています。本大会に向けて、守備の強度と速度、得点への執着心を一層高めます。

チームの目標はあくまでも日本一です。勿論、その達成が容易でないことは十分に理解しています。だからこそ覚悟を固め、しつこく・粘り強く・最後までやりきります。全国から集う多くの強豪チームにも負けず、『良い表情でバスケット』をします! 3年生にとっての高校バスケの総まとめを表現します! 後輩たちの力も借りながら、チーム丸・チーム平成・チーム秋田の覚悟で挑みます。

私達30名のイマには、多くの先輩たちの汗や涙、保護者の理解と支援、地域の方々の叱咤激励、先生方の想いもギュッと詰まっています。その想いと共に、東京で大暴れしてきます!



バスケットボール (女子)

湯沢翔北高校 (8年連続16回目)

主将 加藤 麻里



今年度は思うようにならない試合が続きました。私自身も含め3年生がよい状態で大会に臨めなかったことが原因の一つでした。それが解決した現在、これまで支えてくれた方々への感謝の思いを抱きながら、高校生活最後の大会であるウインターカップに向けてベストの状態でも臨めるよう努力しています。

インターハイ終了後は、個々の得点力を高めることを課題にして取り組んできました。その成果を組織的な攻撃力向上につながることが現在の目標です。湯沢翔北の持ち味である組織的なディフェンスに加えて、向上させた攻撃力を本番で見ただけのように努力したいと思います。

本番の舞台で何よりも大切なのは、「やり遂げる気持ち」の強さだと思います。応援して下さる皆様にその気持ちが伝わるような戦いぶりを表現したいと思います。応援よろしくお祈りします。





- 全国高等学校駅伝競走大会 12/25 京都府 京都市西京極総合運動公園陸上競技場
- 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 12/23～29 東京都 東京体育館
- 全国高等学校ラグビーフットボール大会 12/27～1/7 大阪府 東大阪市花園ラグビー場
- 全国高校サッカー選手権大会 12/30～1/9 東京都 駒沢陸上競技場ほか(神奈川県・埼玉県・千葉県)
- 全日本バレーボール高等学校選手権大会 1/4～8 東京都 東京体育館

ラグビー

秋田工業高校（3年ぶり66回目）
主将 佐々木 哲 平



花園予選を終え、無事に3年ぶりの花園への切符を手にすることができ、ほっとしています。しかし、ここからは全国大会に向けて今一度、気を引き締めていかなければなりません。全国で勝ち進んでいくためには基本的なスキルが高いレベルになければいけません。そのため、自分達のプレーをもう一度見直し、基本的なスキルのレベルアップを図りたいと思います。その中でも特に秋田工業ラグビー部の本質である、スクラムとタックルの精度を上げていきたいと思っています。

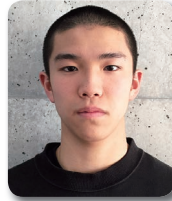
花園が3年生にとっては高校最後の大会となります。今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、一戦一戦全力で戦います。そして、最後まで激しさとひたむきさを前面に出した秋工スタイルを貫き通して頑張ります。

花園が3年生にとっては高校最後の大会となります。今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、一戦一戦全力で戦います。そして、最後まで激しさとひたむきさを前面に出した秋工スタイルを貫き通して頑張ります。

秋田県の代表であるということに自覚と誇りを持ち、全国優勝を目指して頑張りますので応援よろしくをお願いします。



バレーボール（男子）
雄物川高校（22年連続22回目）
主将 早坂 宇 朗



春高県予選を終え、22年連続の本戦出場への切符を手にする事ができて嬉しく思います。本戦に向けて、より一層サーブとブロックの強化を意識を置いて練習に取り組み、またコンビも要所で使えるようにしていきたいです。試合で結果を残すために練習の質を上げ、残り少ない期間を充実させたいと思います。

春高バレーは3年生にとって最後の大会となりますが、昨年は初戦で敗退し、とても悔しい思いをしました。私たち3年生がチームを一つにまとめて、全員で勝ちにいこうという強い気持ちを固めて試合に臨み、今年は1試合でも多く勝ち進んでいけるようにチームを鼓舞し、勝利に導きたいと思っています。

これまでプレーを続けられたのは、監督をはじめとするスタッフの方々や学校・地域の方々のご協力、いつも叱咤激励してくれる親のおかげです。その多くの方々へ恩返しをする意味でも、「感謝」の気持ちを胸にコートで必死さを体現し、全力で戦ってきます。



サッカー

秋田商業高校（2年連続42回目）
主将 駒野谷 海 人

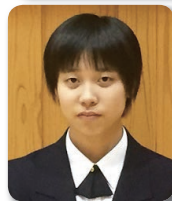


全国高校サッカー選手権大会。それは高校サッカーをしている者なら憧れの舞台であり、目標の場所だ。私たちは先日行われた県大会で優勝し、2年連続42回目の本大会出場が決まった。それは、私たちの力だけで成し遂げることができたのではない。沢山の方々の支えがあったおかげだ。その方々への感謝の気持ちをピッチで表現したい。そして、結果で恩返しできるようにチームが一つになって戦ってきたい。さらに、県代表としてこの舞台に立つ以上、県大会で敗れ、涙を流した選手たちがいることを忘れてはならない。県代表としての自覚を持ち、大会に臨みたい。昨年に比べ今年のチームは技術があるわけではないが、OBが築き上げた「赤い壁」という言葉の通り、粘り強い守備に力を入れて取り組んできた。全国大会での勝利は簡単なものではないが、最後に勝つ者は勝ちへの執念が強い者だと信じ、勝利への執着心を強く持ち、12年ぶりの勝利を秋田へ届けたい。

全国高校サッカー選手権大会。それは高校サッカーをしている者なら憧れの舞台であり、目標の場所だ。私たちは先日行われた県大会で優勝し、2年連続42回目の本大会出場が決まった。それは、私たちの力だけで成し遂げることができたのではない。沢山の方々の支えがあったおかげだ。その方々への感謝の気持ちをピッチで表現したい。そして、結果で恩返しできるようにチームが一つになって戦ってきたい。さらに、県代表としてこの舞台に立つ以上、県大会で敗れ、涙を流した選手たちがいることを忘れてはならない。県代表としての自覚を持ち、大会に臨みたい。昨年に比べ今年のチームは技術があるわけではないが、OBが築き上げた「赤い壁」という言葉の通り、粘り強い守備に力を入れて取り組んできた。全国大会での勝利は簡単なものではないが、最後に勝つ者は勝ちへの執念が強い者だと信じ、勝利への執着心を強く持ち、12年ぶりの勝利を秋田へ届けたい。



バレーボール（女子）
由利高校（2年連続27回目）
主将 小松 泉 穂



この度、春の高校バレー秋田県予選会で、秋田和洋女子高校に3-0で勝利し、全国大会への出場を決めました。決勝では、序盤苦しい展開となりましたが、中盤からは由利のバレーをすることができました。

今年度の目標は県大会優勝ではなく、全国大会でベスト8以上になることです。昨年の春高バレーでは、全国の舞台で何もできないまま敗れ、夏の山口総体でも力を発揮できずに2回戦敗退となってしまいました。この状況を克服するため今まで練習を重ねてきました。チームや個人の課題をもう一度見直し、最高のパフォーマンスをしてきます。昨年の先輩方の分も、オレンジコートで大輪の「由利」の花を咲かせられるように頑張ります。

私たちは多くの方々に支えられて、3年間バレーボールに打ち込むことができ、仲間と共に成長してきました。由利の「気魄」、信頼と感謝のバレーボールで、全国ベスト8以上を目指します。応援よろしくお願いします。





県内スポーツの主なできごと

7月

- 25日 全国中学生フェンシング選手権大会（東京都）で秋田市ジュニアフェンサーズが女子団体優勝
- 31日 第15回全国女子中学生重量挙げ選手権大会（いわき市）で、58kg級の後藤叶選手（合川3年）が優勝

8月

- 16日 大相撲の豪風関（北秋田市出身、本名・成田旭）が、県民栄誉章を受章。
- 19日 国体東北ブロック大会兼東北総合大会が青森県内で開催（～21日）
- 19日 第32回全国高校生グレコローマン選手権大会（大阪府堺市）で、84kg級の山田修太郎選手（秋田商2年）が優勝
- 20日 全国高校総体閉幕（7月28日～）28競技に436人の選手が出場
- 21日 リオデジャネイロ五輪に、佐々木悟選手（マラソン）、佐々木将汰・翼選手（カヌー）が出場
- 27日 第4回全国高校陸上競技選抜大会（大阪市）で、斎藤椋選手（秋田工3年）が、男子1万mで優勝
- 27日 中学生強化選手育成事業 秋田県中学生強化選手競技力向上研修 開催（～28日）

9月

- 2日 第71回国民体育大会秋田県選手団結団式を秋田市文化会館で開催
監督53名、選手358名（男子220名、女子138名）が31競技にエントリー
- 4日 第71回国民体育大会本大会の水泳競技が岩手県で開催（～11日）
- 8日 リオ・パラリンピックに藤井新悟選手（車いすバスケットボール）が出場
- 8日 日本スポーツマスターズ2016の会期前競技（ゴルフ8～9日、水泳17～18日）を実施
- 8日 世界大学水上スキー選手権大会が大潟村水上スキー場で開催（～11日）
- 8日 アスリート就職支援説明会（競技団体向け）を開催
- 22日 第20回日韓スポーツ交流・成人交歓交流（受入）を開催。韓国から192名の選手・役員が来県し、日本スポーツマスターズ2016の10競技に参加（～28日）
- 23日 日本スポーツマスターズ2016開会式（前夜祭）を秋田市で開催。県内6市2町の34会場において11競技が繰り広げられた（～27日）
- 23日 2018年度全国高校スキー大会（インターハイ）が花輪スキー場で開催されることを県が発表
- 27日 サッカー明治安田J3ブラウブリッツ秋田の後援会設立総会 開催

10月

- 1日 第71回国民体育大会本大会が岩手県で開催（～11日）総合成績は、天皇杯37位、皇后杯36位
- 2日 小野清子氏（体操・秋田市出身）がIOCから五輪オーダー（功労章）受章
- 2日 第3回秋田25市町村対抗駅伝「ふるさとあきたラン！」が大館市で開催。ご当地自慢フェスティバル（1～2日）も同時開催
- 10日 由利本荘市が「スポーツ立市」を宣言
- 24日 全日本50キロ競歩高畠大会で、小林快選手（大館市出身）が優勝。来年の世界選手権へ

11月

- 2日 本会前会長の鈴木洋一氏が、県文化功労章を受章
- 3日 中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト「パフォーマンステスト」開催
- 4日 本会顧問の小野喬氏（体操・能代市出身）に松野文科相から文化功労者顕彰状が贈られた
- 5日 東北ブロッククラブネットワークアクション2016を秋田市で開催（～6日）
- 8日 第2回東北体育協会連合会総会を秋田市で開催
- 23日 中学生強化選手育成事業「ジュニアアスリート指導者研修」開催
- 26日 第2回秋田県競技力向上連絡協議会・第11期中学生強化選手指定証交付式を開催



秋田県体育協会へのご寄付のお願い

県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益財団法人への寄付は、教育又は科学の振興など公益の増進に著しく寄与できるものとして、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。

スポーツ立県を支え、実現していくために、多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

平成 28 年 9 月 1 日から 11 月 30 日までの間、寄付申込みをいただいた法人・団体・個人をご紹介します。（敬称は略させていただきます。）

【法人・団体】

株式会社秋田魁新報社
秋田総合リース株式会社
株式会社石川組

有限会社三協商事
株式会社サンコーホーム
瀬下ワールドファミリー会

むつみ造園土木株式会社

スポーツドリンクの提供について

今年度も、大塚製薬株式会社より、たくさんのスポーツドリンクの現物寄付をいただきました。

このスポーツドリンクは、高等学校強化拠点校や国体代表チームの選手激励として提供しました。競技力向上に御協力いただきありがとうございました。

バスケットボール競技普及等助成事業

秋田プロバスケットボールクラブ株式会社から、本県のバスケットボール競技の普及・振興等に役立ててほしいと 100 万円の寄付があり、今年度は、次の事業に助成することとしました。

① クリニックの開催事業（1 事業）

- 秋田市立山王中学校

② 用具の購入事業（12 事業）

- 中仙スターボーイズミニバスケットボールスポーツ少年団
- 牛島女子ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 天王女子ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 船越男子ミニバスケットボール少年団
- 保戸野ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 東小男子ミニバスケットスポーツ少年団
- 南外ミニバスケットボールスポーツ少年団
（以上、デジタイムの購入）
- 払戸ミニバススポーツ少年団
- 小坂町男子ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 東湖ミニバススポーツ少年団
- 男鹿市立潟西中学校女子バスケ部
- 神岡男子ミニバスケットボールクラブHJジャズ
（以上、ユニフォームの購入）



県体協事務局だより

会議録(抄)

8月1日 第1回総務企画委員会

- ・チャリティゴルフコンペについて
- ・無料職業紹介事業について
- ・国体ユニフォームについて
- ・広報誌「スポーツ秋田」について
- ・基本財産等の運用方法について

8月25日 第1回国体ユニフォーム検討委員会

8月30日 第2回強化委員会

- ・東北総体の結果について
- ・国体に向けた激励計画について

9月2日 第2回定例理事会

- ・東北総合体育大会功労者表彰について
- ・業務執行理事の業務報告について

- ・無料職業紹介所の設置について
- ・インターハイ、東北総合体育大会の結果について
- ・寄付金の申込み状況について
- ・国体ユニフォームの検討について
- ・国民体育大会秋田県選手団本部役員(案)について
- ・基本財産等の管理について

9月27日 第2回国体ユニフォーム検討委員会

11月11日 第3回国体ユニフォーム検討委員会

11月18日 第3回強化委員会

- ・第71回国民体育大会の結果と分析について
- ・平成29年度の強化策等について
- ・平成29年度テクニカルアドバイザーの採用方針について

平成28年度関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠にありがとうございます。
今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

秋田県ボクシング連盟 創立70周年記念式典・祝賀会	7月23日	イヤタカ
秋田中央高校ラグビー部 創部70周年記念式典・祝賀会	9月4日	ホテルメトロポリタン秋田
一般財団法人横手市体育協会 創立10周年記念式典・祝賀会	9月10日	横手体育館・横手セントラルホテル
一般社団法人秋田県バスケットボール協会 創立70周年記念式典・祝賀会	10月23日	秋田ビューホテル

オリンピック・パラリンピック候補者支援募金

2018年のピョンチャン冬季オリンピック・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの大舞台で活躍する夢をみて、強化練習に励んでいる本県出身のオリンピック・パラリンピック候補選手を支援するため、寄付金を募っています。

募金箱は、次の場所に設置していますので、皆様のご支援をお願いします。

秋田県スポーツ科学センター、県立武道館、県立総合プール、県立中央公園、県立体育館、県立スケート場(冬季)、各市町村体育協会窓口、象潟B&G海洋センター、田沢湖スポーツセンター、たざわ湖スキー場(冬季)



今年は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック、いわて国体、日本スポーツマスターズなど、大きなスポーツイベントを身近なものとして楽しむことができた年でした。来年は、東北総合体育大会やねんりんピックが県内で開催されます。会場にて選手の活躍を応援してくださるようお願いいたします。

本誌の発行にあたり、ご多用中の折、取材や原稿執筆などにご協力くださいました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。(佐藤事務局長)

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.[®]

三本コーヒー株式会社
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

株式会湯沢生コン
地域の発展とともに
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

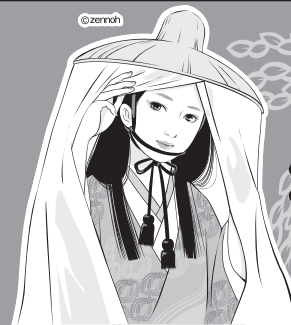
事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 木 村 了
税理士 横 山 富 夫

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
横山会計 / 秋田市川尻若葉町4番37号 Tel.018-862-6388



あきた eco
らいす

美人を育む
秋田米

秋田県が示している一般的な栽培方法より、
使用農薬成分回数を半分以下に抑えて栽培された

あきた ecoらいす

JAグループ秋田・JA全農あきた



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター アリナス

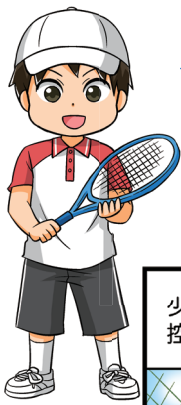
スポーツ 合宿 研修 ... に

ア リ ナ ス 宿 泊 ラ 室
ト レ ー ニング ルーム ス ト ラ ン 場
温 水 プ ー ル 温 泉 浴 場
研 修 ルーム (サウナ有)
ミーティングルーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>





まかせて安心

いざというときしっかりサポート

スポーツ安全保険



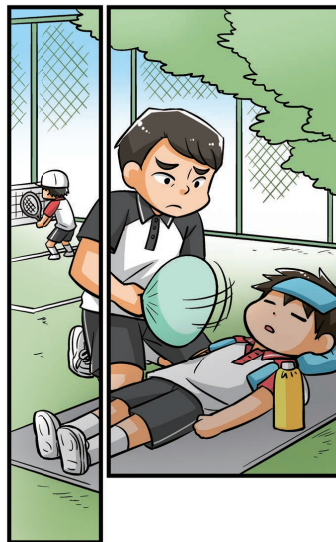
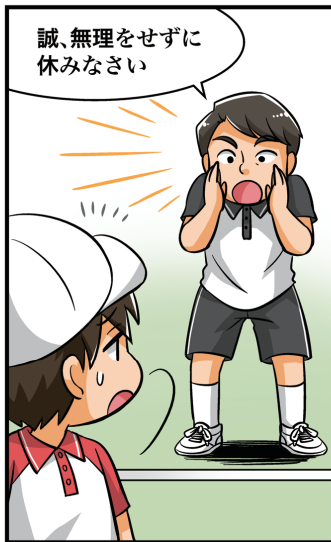
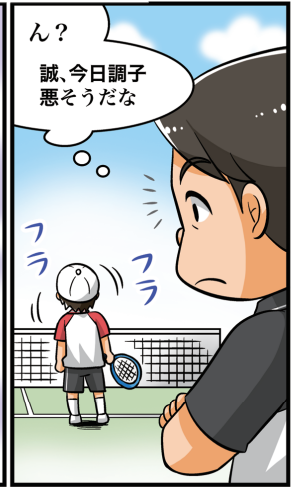
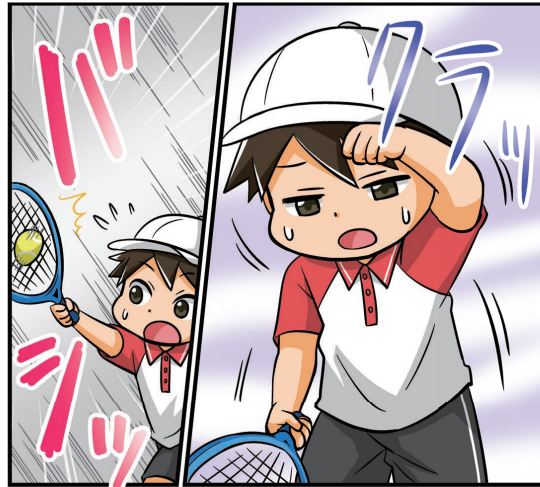
4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

少年テニス大会を控えた練習日



対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成28年3月から)

掛金

掛金(1人年額 800円~11,000円)は、活動内容・年齢によって
ご選択いただく加入区分ごとに異なります。

例 高校生以上64歳以下の方のスポーツ活動を補償するC区分は1,850円

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。

スポーツ安全協会

検索

インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。



公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL018-883-0360

〈(公財)秋田県体育協会内〉

電話受付時間:午前9時30分~午後5時(土、日、祝日を除く)



携帯電話から
資料請求ができます。

保険の詳細い内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

資料請求は、インターネットより
受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成28年4月)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上

平成27年12月作成 15-T08342